

【榎本館長からのメッセージ】

暑い！熱い!!夏も終わり、過ごし易い秋が来た～と思いきや、雨と台風の日々・・・中々お日様を仰げない日が続いています。加えてこの時期は、溜まっていた夏の疲れが一気に出てくるとき。みなさま体調管理には十分お気をつけください。

現在、植物館の前庭には、沢山のカボチャが展示されています。これは、9月中旬に茨城県の常陸大宮から持ってきたもので、大きいものから小さいもの、イケメンからブチャイクなものまで、約 200 個のカボチャを転がしております。ぜひこの機会に、お気に入りカボチャを見つけてみてください。

※公園エリアでは本格的にオリンピックの準備工事に入っております。ご利用されるお客様には大変ご迷惑、御面倒をおかけいたしますが何とぞご理解、ご協力のほどよろしくお願い致します。 館長



▲前庭カボチャ広場！
「カボチャの大きさにびっくり！」

季節イベントの紹介（イベント・展示担当：関）

10月といえばハロウィンです。毎年大人気の巨大おばけカボチャの展示は今年も茨城県常陸大宮市で生産された50～100kg100個以上を前庭に！自由に触って、転がして遊んで下さい。イベントホール、情報ギャラリーには仮装のできるブースと撮影スポットをご用意しました。

夢の島ハロウィンパーティーをお楽しみください！！（「ハロウィンパーティー」10月30日まで）

【10月のイベント】

「夢の島オータムフェスタ 2016（入館料無料）」（10/9、10）

※夢の島熱帯植物館最大のイベントの2日間。環境への思いを寄せ、国際感覚とボランティアマインドを育み、親子が寄り添いながら楽しく学べる秋のお祭りです。ワクワクの夢の島植物館で楽しく盛りあがりましょう！（仮装をしてのご来館もお待ちしております）

「ハロウィンアレンジ教室（予約制）」（10/22、23）、「森の学校 カボチャの収穫」（10/8）、「秋を感じる絵画教室」（10/16）

★詳しくはイベントチラシまたは夢の島熱帯植物館までお問い合わせください。

館内で見られる植物の紹介（植物館植栽担当：横平）

ヒガンバナの原産地は中国と推測されていて、日本と中国を中心に分布しています。

地下茎の一種である鱗茎にアルカロイドという毒を含んでいるため、田畑のあぜ道に植えたり壁土に混ぜて、モグラやネズミの害を防いだといわれています。また良質のデンプンも含むことから、飢饉の時の非常食として、人為的に植えられたのではないかの説もあります。ただし、食べるにはアルカロイドを取り除く必要があります。その他、生薬としても利用されます。

このように人々の暮らしと深い関わりがあることから、マンジュシャゲの他に1000を超すとも言われる別名があります。

館内では一部にしか植栽していませんが、代わりにシロバナマンジュシャゲという同じヒガンバナ科の植物を鉢物で栽培しています。ヒガンバナとその近縁のショウキズイセンの交雑種だといわれていて、ヒガンバナの白花種より黄色みを帯びて花卉がさほど反り返らず、葉もやや幅広くなる点が異なります。それでも雄しべや雌しべが弧を描くように長く突き出ている様子は、ヒガンバナと同じで芸術的とも言えます。開花中は、植物館入口の券売所に展示しています。



お彼岸ごろに咲いていたヒガンバナ（ヒガンバナ科）

これから見頃のシロバナマンジュシャゲ

今月の花と実



▲ ディコリスサンドラ・ティルシフロラ



▲ アリストロキア・ギガンテア



▲ スタペリア・ヒルスタ‘犀角’

♪ この時期の人気者 ♪
雨の多い日が続いた秋。涼しさと共に花の勢いが増してきました。屋外ではハーブ園に色とりどりのサルビア。券売所横ではギガンテア。プールの中ではオオオニバスがこれでもかと続けざまに開花中。大温室入口手前のごろごろ石の転がる光庭では、小さな犀の角のに似たサボテンが、宇宙生物を思わせる不思議な花を咲かせます。秋の色合いは繊細。

【サビダス券】団体不可
コーヒ・紅茶
一杯無料
10/1～10/31